

彼女の純朴な様子を 信じちゃダメだ。 祭司カラズンは また狡猾な 司令官だからな。

彼女は我々に 何を準備してる と思う?



多分・・・。 晩餐会のために、僕は 君の言うとおりにした。 一つとしてミスは 無いさ。

すべては我々の 都合通り運んでる。 彼女が何もわかっていないのに変 わりはないさ。 それはいい。だが、 祭司が放つオーラは、 君が想像する以上に 反吐が出るような もんだってことを 言っておこう。





